

第 75 回北海道理学療法士学術大会

開催趣意書

テーマ「継承と進化」

この度、第 75 回北海道理学療法士学術大会を 2017 年以来 7 年振りに北海道理学療法士会日胆支部が担当し、開催することとなりました。

理学療法士が活躍する場面は医療や介護、福祉の領域のみならず学校教育やスポーツ支援（障がい者スポーツ支援）、災害支援、行政等に広がり、それぞれのフィールドにおいて求められる役割・知識・技術も多岐に渡っております。また、2024 年は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬が同時改定となることから、北海道民の皆さまを対象とした医療と保健、福祉行政サービス向上ならびに充実に寄与したいと考えております。私たち理学療法士は、自身の専門フィールドのみならず各地域の抱える課題に対して道民の皆さまと共に発展的、複合的に取り組む必要があると考えています。

皆さまに理学療法の提供にあたり、EBM に基づいた理学療法を追求し検証することはもちろん、治療の効果判定に関する情報を臨床研究に活かして、アップデートしていくことが求められています。一方で、先人達がこれまで積み上げてきた膨大な理学療法のノウハウを引き継ぎ、最新の知識、技術、研究を融合させ、後世へ「継承」し深化しなければなりません。また、時代や情勢に合わせて理学療法も「進化」し、皆さまから求められる理学療法を提供することが我々の責務と考え、大会のテーマを「継承と進化」と致しました。

これまでコロナ禍で培い発展してきた多様な学び方や新たな知見、様々な創造的な工夫を、本大会において共有し議論することで、これからの理学療法の価値や発展、創造などに繋げていきたいと考えております。

理学療法士はもちろん、道民の皆さまにとっても有意義な学術大会となるよう、大会準備委員一丸となって取り組んでいきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

公益社団法人日本理学療法士協会北海道ブロック
代表会長 柿澤 雅史
(公益社団法人北海道理学療法士会 会長)

第 75 回北海道理学療法士学術大会
大会長 森田 学
副大会長 石川 修一
副大会長 中野 大輔
準備委員長 會津 圭崇